

ES-89
Cute

取扱・取付説明書
(テレコントロールエンジンスターター)



はじめに

このたびは、テレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、自動車のエンジンコンディションを整えるためのウォーミングアップ、寒冷地での暖機運転、酷暑時での車内の冷房等をするために、遠隔操作によってエンジンのスタート/ストップを行う機器です。
ご使用の前に、この取扱・取付説明書をよくお読みの上、注意を守って正しくお使いください。



警告

- 本製品は国産のオートマチック車専用です。マニュアル車には取付けできません。
- 使用に当たって、まずオートマチック車認識設定が必要になります。作動しない場合は、お買い求め店にご確認ください。
- お客様ご自身での取付けは危険ですので、取付けはお買い求め店にご相談ください。
- 本製品を分解・改造しないでください。また、本来の目的以外のご使用は危険ですのでお止めください。

注意事項の見方 (3)

使用上のご注意 (4-11)

1. エンジンスターターの使い方

1. このように構成されています (12)

各部のなまえ (12) / 電池の交換 (13)

2. 動かしてみましょう (14)

エンジンを始動 (14) / エンジンを止める (14) / アイドリングは自動停止 (14)

■「STOP」操作以外のエンジンの停止 (15) / アイドリングモニターアラーム (15) / スリープタイマー (15)

3. 機能の設定 (16)

オートマチック車の認識設定 (16) / アイドリング (暖機) 時間の設定 (17-18)

■エンジン始動性に関する設定 (19)

4. 故障かな? (20-21)

5. どうしよう (22)

2. エンジンスターターの取付け方

取付け上のご注意 (23-24)

1. 梱包内容 (25)

梱包内容の他に必要なもの (25)

2. 取付け前の準備 (27)

揃えておきたい主な工具・エレクトロタップの使用方法 (27) / 接続の概念図 (システム図) (28)

3. 取付け作業 (29)

取付けの前に (29) 1. アンテナの取付け (30) 2. 専用ハーネスの取付け (31) 3. CN2 配線の接続 (32)

4. カプラの接続 (33) 5. オートマチック車の認識設定 (34) 6. 動作チェック (34-35) 7. 受信機の取付け (36)

8. 取付け後の配線処理 (36) 9. 機能の設定 (37-38) 10. 受信機のモニターアラームアンサーバック表 (40-41)

4. スペア送信機について (39)

5. 主な仕様 (42)

6. アフターサービス (43)

保証書 (44)

注意事項の見方

この「取扱・取付説明書」に書かれている注意事項は、製品を安全に正しく最良の状態でお使いいただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項の意味



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味



禁止事項を示しています。



しなければならないことを示しています。

使用上のご注意



警告

テレコントロールエンジンスターターを安全に、最良の状態でご使用いただくために、必ずお読みください。

この取扱・取付説明書に関する注意事項



警告

- ご使用になる前に、本冊子を良くお読みになって正しくお使いください。
- お読みになった後も「本説明書」「保証書」を製品に近接して保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようにしてください。
- 本製品を別の車に取付け直す場合は、「本説明書」「保証書」を製品に近接して保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようにしてください。また「警告ラベル」を販売店より入手してください。
- 本製品を譲渡される場合は、「本説明書」「保証書」をいっしょにお譲りください。また「警告ラベル」を販売店より入手していっしょにお譲りください。

ご利用にあたって知っておきたい注意事項



警告

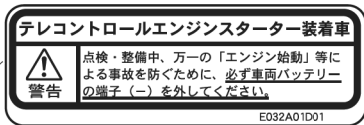
- 本製品はオートマチック車専用です。マニュアル車には取付けできません。
- 使用に当たって、まずオートマチック車認識設定が必要になります。作動しない場合は、お買い求め店にご確認ください。



注意



- 取付けは、概念的な説明で確実に取付けのできる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取付けた場合は、PL保険の対象になりません。
- 本製品を分解・改造はしないでください。分解・改造をされた場合の保証はいたしません。また本来の目的以外のご使用は危険ですでお止めください。
- 「警告ラベル」がエンジンルーム内に貼られていることを確認してください。もし、貼られていない場合は販売店または取付店に貼るようお願いしてください。警告ラベルが無い状態で車両の点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。



「警告ラベル」

- 本製品は国産車専用で、輸入車への取付けはできません。
- 本製品は、燃料噴射装置付車（ガソリン車、ディーゼル車）で、キー操作のみで（※1）エンジンが始動する車に取付けが可能です。また、キャブレター車への取付けはできません（当社の車種別専用ハーネス表に記載されている車種が適応）。
- 取付けには、当社製の車種別専用ハーネス（別売）が必要になります。販売店にご相談ください。他社のハーネスでの取付けはできません。もし取付けた場合は、本製品の保証の対象となりません。
- 本製品は、他社のターボタイマー、またはセキュリティーシステム等との併用はできません。
- メーカー装着、ディーラー装着のキーレスエントリーシステム等の装備車で、エンジンスターターによるアイドル中にドアロック／アンロックができない車種があります。このような場合は、車両のキーでドアロック／アンロックを行うか、エンジンスターターの「Stop」操作でエンジンを停止させてから操作をしてください。

※1 アクセルペダル、チョークノブ等を操作せずに、目安として1秒以内

使用時の注意事項



警 告



屋内でエンジンを始動しない

- 車庫などの換気の悪い屋内では、絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより、中毒や窒息のおそれがあります。



ボディカバーを掛けたままエンジンを始動しない

- 車両にボディカバーを掛けたままでは、絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより中毒や窒息のおそれがあります。また、高熱の排気ガスによる火災の危険があります。



車内に人やペットを乗せたままエンジンを始動しない

- 人（特にお子様）やペットが車内にいるときは、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの動いている車両を操作したり、ペットの思わぬ動きが重大事故につながるおそれがあります。



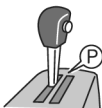
輪止め等の安全処置をする

- 駐車するときは車輪に輪止め等の安全処置をしてください。エンジンの振動で車両が動き出し重大事故につながるおそれがあります。



! 安全な整備を行うために

- 車両の点検整備を行う際は、車両のバッテリー端子の(-)を外して行ってください。万が一、エンジンが始動した場合は重大事故につながるおそれがあります。
- 点検整備をお願いする場合は、エンジンスタート装着車であることをお伝えください。



⊘ 「N」レンジでは使用しない

- エンジンスタートは「P」レンジで使用してください。「N」レンジで使用すると、エンジンの振動で車両が動き出し重大事故につながるおそれがあります。



! 周囲の安全を確認する

- 車両の周囲の安全を十分確認できる場所（人やペットが近くにいない）でご使用ください。
- 傾斜地に駐車したときは、エンジンスタートによるエンジン始動を行わないでください。
- 車両の整備・点検時には、エンジンスタートによるエンジン始動を行わないでください。
- 公道ではエンジンスタートによるエンジン始動を行わないでください。



注 意



⊘ 暖機運転直後は運行前点検をしない

- 車の暖機運転を行った直後に運行前点検を行うと、火傷のおそれがあります。エンジン停止後、5分以上経過してから火傷のおそれのないことを確認した上で運行前点検を行ってください。



迷惑なアイドリングはしない

- 環境保護のため、周りに迷惑をかけないためにも必要以上のアイドリングは行わないでください。



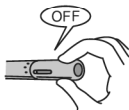
車両駐車時の注意事項



- オートライトスイッチ、ワイパースイッチ、オートアンテナ付きラジオ等はスイッチを「OFF」にしてください。
- パーキングブレーキをかけてください。
- シフトレバーを「P」にしてください。
- 全ての窓を閉め、全てのドアを施錠（ロック状態）してください。



オートライトコントロール機能付き車での注意事項



- 車両のライトスイッチを必ず「OFF」にしてエンジンスターターを使用してください。車種によりライトスイッチを「オート」にしたまま夜間に使用すると、エンジンスターターによるアイドリングが停止してもヘッドライトは消灯しないため、バッテリーあがりを起こすおそれがあります。

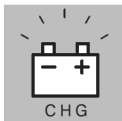


極寒ではエンジンがかかりにくいこともあるので整備をする

- 寒冷地ではエンジンのかかりにくいこともあります。キー操作のみで（アクセル、チョークノブ等を操作せずに）1秒以内にエンジンが始動するように車両を整備してください。



充電警告灯の点灯時はまず点検・整備を



- 車両のキーでエンジンを始動した後に、車両の充電警告灯（CHGランプ）が消えない場合は、エンジンスターターを使用せずに車両の点検整備をしてください。

送信機に関する注意事項



警 告



送信機は安全な場所に保管する



- 送信機はお子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込んだり、アンテナ等で目を突いてけがをしたり、誤って操作をして重大な事故につながるおそれがあります。
- 送信機のリチウム電池は充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れる等はしないでください。発火、発熱、破裂の原因となります。また、電池を破棄する場合および保存する場合にはテープ等で絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。幼児等が万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師とご相談下さい。



注 意



高温、多湿な場所に置かない



- 送信機は直射日光下の高温になる場所、湿気の多い場所、極端な温度になる場所（60℃以上、または-20℃以下）には置かないでください。送信機を傷めたり、その直後にご使用になると正常に作動しない場合があります。



落としたり、ぶつけない



- 送信機を落としたり、固いものにぶついたり、アンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因となります。



水に浸けない

- 送信機は日常生活防水対応になっていますが、水没等で水に浸かると内部まで浸水して故障の原因になるおそれがあります。



中性洗剤で汚れをふき取る

- 汚れを落とすには、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭いてから、乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。汚れが落ちなくなったり、傷を付けるおそれがあります。

道路交通法に関する注意



警 告



公道でのエンジンスターターの使用禁止

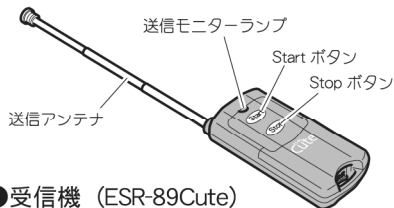
- 公道で車両のエンジンをかけたままで放置することは禁止されています。違反すると道路交通法違反になります。エンジンスターターは私有地のみでご利用ください。

1 エンジンスターターの使い方

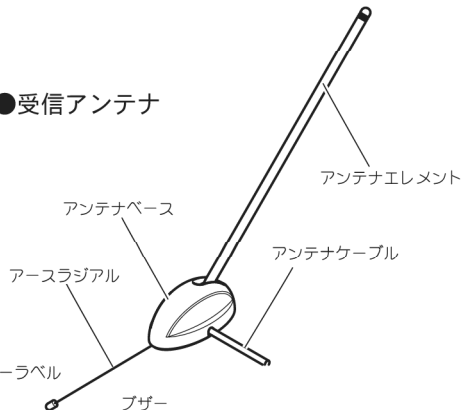
1. このように構成されています

各部のなまえ

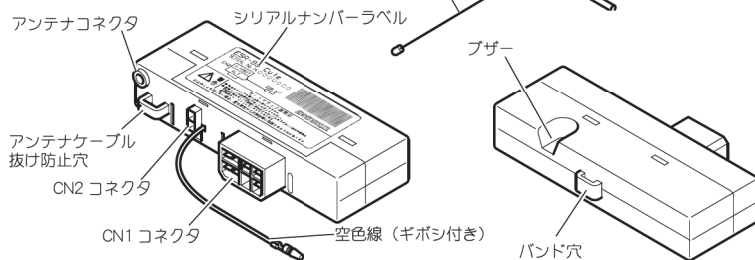
●送信機 (EST-89Cute)



●受信アンテナ



●受信機 (ESR-89Cute)



電波法に関する注意事項



警 告



分解、改造または海外での使用禁止

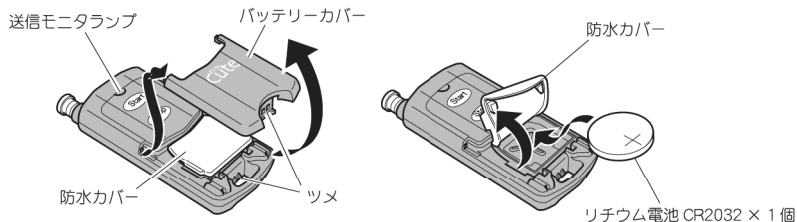
- エンジンスターターの送信機は、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準適合証明（利用に関して、お客様の免許申請等の手続きは不要）を受けています。必ず次のことを守ってお使いください。
- また、この製品は混信防止機能として識別符号自動送受信機能を搭載しており、他のシステムに不具合を与えません。
- 分解・改造をしないでください。電池交換のためにバッテリーカバーを外すことはできますが、それ以上の分解・改造は法律で禁止されています。
- 技術基準適合ラベル（送信機裏側に貼ってあるラベル）ははがさないようにしてください。ラベルのないものは使用が禁止されています。
- この製品は外国の電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。
This product is for the use only in JAPAN.

電池の交換

送信操作「Start / Stop」を行い、送信機の送信モニターランプが1秒間点灯後、5回点滅する場合は電池が消耗していますので、電池を以下の手順で交換してください（リチウム電池 CR2032 × 1個）。

●電池は消耗してくると、特に低温時に性能が低下してきます。このため極低温の環境で使用した場合、送信モニターランプが5回点滅せずに、作動しなくなることがあります。

- 1 裏側のツメを外して、バッテリーカバーを外す
- 2 防水カバーをめくって、+側が上になるように電池を交換する
- 3 防水カバーを元に戻し、バッテリーカバーをツメが確実にロックするように取付ける



警告

送信機のバッテリーカバーを閉じるときは、すき間の無いように閉じて、確実にツメをロックさせてください。すき間があると送信機内部に水が入り故障の原因となります。

2. 動かしてみましよう

- スイッチは、0.5 秒以上押し続けることによって、送信モニターランプが点灯して送信します。
- 次の操作は、送信モニターランプが消灯してから 2 秒以上経過してから行ってください。(電波法により連続送信はできません)



注意

- 受信機の電源が切られた場合（バッテリーを外したとき、取付け直後等）は、オートマチック車の認識設定をしないとエンジンスターターは作動しません（16 ページ参照）

エンジンを始動

送信機のアンテナを伸ばし、「Start」ボタンを送信モニターランプが点灯するまで押し続ける。

- エンジンの始動条件：シフトレバーが「P」レンジに入っていること。
- 1 回目の操作でエンジンが始動しなかった場合は、自動的に最大 2 回の再始動を行います。



エンジンを止める

送信機のアンテナを伸ばし、「Stop」ボタンを送信モニターランプが点灯するまで押し続ける。



アイドリングは自動停止

- 20 分経過するとエンジンは自動停止します。(※)

※機能の設定により暖機時間を 10 分、20 分、30 分に設定できます。出荷時設定は 20 分です。（設定方法は 17～18 ページ参照）。

「STOP」操作以外のエンジンの停止

- アイドリングタイマーにより 20 分（暖機時間を変更した場合は、10 分または 30 分）経過すると、エンジンは自動的に停止します。
- シフトレバーを「P」レンジ以外に動かすと、エンジンは停止します。

アイドリングモニターアラーム

- エンジンスターターでアイドリング中は、受信機のブザーからアラーム音が常に出ています。（2 秒間隔で、「ピッ ピッ …」と鳴ります。）このアラーム音が鳴っているときには、エンジンスターターによるアイドリング中であることが確認できます。
なお、モニターアラーム音は、アイドリングタイマーによる自動停止でエンジンが止まる 5 秒前から「ピピピピッ …」に変わり、5 秒後にエンジンが停止します。

スリープタイマー

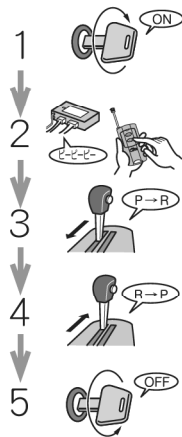
- 30 日以上、送信機の「Start」操作をせずにエンジンスターターを使用しなかったり、車両のキースイッチを「ON」にすることがなかった場合、車両バッテリーの負担を軽減するために、受信機はスリープモードに入りすべての機能を停止します。
- 車両のキースイッチを 3 秒以上「ON」にすることにより、スリープモードから復帰できます。

3. 機能の設定

オートマチック車の認識設定

●受信機（ESR-89Cute）の電源が切られた場合（バッテリーを外したとき、受信機の CN1 コネクタを外したとき等）は、この設定をしないと、エンジンスターターは作動しません。
下記の手順に従って、オートマチック車の認識設定をしてください。

- 1 車両のキースイッチを「ON」にする
- 2 10秒以内に、送信機の「Stop」ボタンを押す
（受信機のブザーが「ピーピーピー…」と鳴り続ける）※1
- 3 10秒以内に、シフトレバーを「P」から「R」に動かす
（受信機のアラーム音が「プププ…」と変化するまで待つ）
- 4 シフトレバーを「R」から「P」に動かす
（受信機のブザーが「（ブーブブ※2）ピーピー」と鳴り設定完了）
- 5 車両のキースイッチを「OFF」にする



※1 ブザーが鳴っている間は、車両のイグニッション電源は切れません。

※2 パーキングポジションを配線した場合に「ブーブブ」と鳴ります。

アイドリング（暖機）時間の設定（出荷時は「20分」に設定してあります）

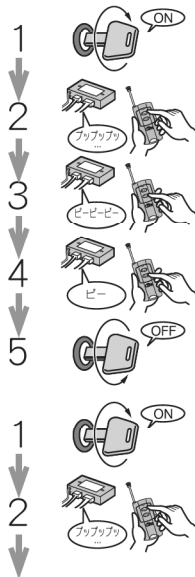
●アイドリング（暖機）時間を 10分、20分、30分に変更することができます。

■「10分」設定手順

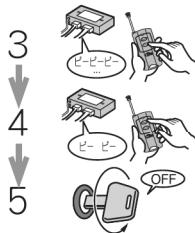
- 1 車両のキースイッチを「ON」にする
- 2 10秒以内に、送信機の「Start」ボタンを押す
（受信機のプロザーが「プッププッ…」と鳴り続ける）
- 3 10秒以内に、送信機の「Stop」ボタンを押す
（受信機のプロザーが「ピーピーピー…」と鳴り続ける）
- 4 10秒以内に、送信機の「Stop」ボタンを押す
（受信機のプロザーが「ピー」と鳴り設定完了）
- 5 車両のキースイッチを「OFF」にする

■「20分」設定手順

- 1 車両のキースイッチを「ON」にする
- 2 10秒以内に、送信機 の「Start」ボタンを押す
（受信機のプロザーが「プッププッ…」と鳴り続ける）

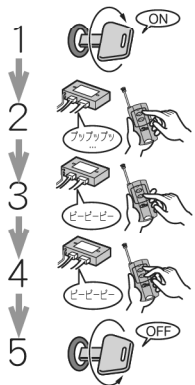


- 3 10秒以内に、送信機の「Stop」ボタンを押す
(受信機のプロザーが「ピーピーピー…」と鳴り続ける)
- 4 10秒以内に、送信機の「Start」ボタンを押す
(受信機のプロザーが「ピー ピー」と鳴り設定完了)
- 5 車両のキースイッチを「OFF」にする



■ 「30分」 設定手順

- 1 車両のキースイッチを「ON」にする
- 2 10秒以内に、送信機の「Start」ボタンを押す
(受信機のプロザーが「プッププッ…」と鳴り続ける)
- 3 10秒以内に、送信機の「Stop」ボタンを押す
(受信機のプロザーが「ピーピーピー…」と鳴り続ける)
- 4 10秒以内に、送信機の「Start」と「Stop」ボタンを同時に押す
(受信機のプロザーが「ピー ピー ピー」と鳴り設定完了)
- 5 車両のキースイッチを「OFF」にする



エンジン始動性に関する設定（37～38 ページを参照してください。）

- 車種によりエンジンや使用環境の違いで、エンジンの始動性に影響が出ることがあります。このような場合、エンジン始動性に関する設定を行うことで始動性を改善できる場合があります。具体的にはクランキング時間（セルモーターを回す時間）を変更したり、車種（ガソリン車／ディーゼル車）の変更をする設定です。
- この設定については、車両に対する専門の知識が必要なため、販売店・取付店にご相談ください。

4. 故障かな？

ここに書かれていることを行っても問題が解決されないときは、販売店または取付店にご相談ください。

送信機の操作距離が短くなった。



1 送信機のアンテナを伸ばしていますか？

アンテナを伸ばしてから送信操作を行ってください。

2 送信機の送信モニターランプが、1秒間点灯後に5回点滅しますか？

送信機のリチウム電池(CR2032)が消耗していますので新しいものと交換してください。

3 受信アンテナケーブルが確実に接続されていますか？

受信機のアンテナコネクタに、アンテナケーブルを確実に接続してください。
(販売店、または取付店にご相談してください)

送信機の「Start」操作をしても、エンジンがかからない。



1 車両のバッテリー端子を外したことがありますか？

(「Start」操作後、受信機のブザーが「ブーブブ」と鳴りますか？)

オートマチック車認識設定を行ってください
(16 ページ参照/オートマチック車認識設定)。

- 2 エンジン始動の条件が満たされていないのでは？
シフトレバーが「P」レンジに入っていることを確認してください。
- 3 車両のキースイッチが「ON」になっていませんか？
車両のキースイッチを抜いてください。
- 4 3回始動を行ってもエンジンがかからない？
エンジンがかかりにくい状態です。車の整備をした上で、販売店または取扱店にご相談ください。
- 5 30日以上エンジンをかけない状態でしたか？
スリープモードになっています。車両のキースイッチを、3秒以上「ON」にしてください。
- 6 「送信機の操作距離が短くなった」（20 ページ）の項目を確認してください。

送信機の「Stop」操作をしても、エンジンが止まらない。

- 1 車両のキースイッチでエンジンを始動していませんか？
送信機でエンジンを止められるのは、送信機でエンジンを始動した場合です。車両のキースイッチでエンジンを止めてください。
- 2 「送信機の操作距離が短くなった」（20 ページ）の項目を確認してください。



5. どうしよう

車両のバッテリーを外した。

受信機の電源が一度切れましたので、オートマチック車の認識設定（16 ページ参照）をしてください。

送信機を紛失（破損）してしまった。

送信機を紛失または破損（修理不可能）した場合は、スペア送信機を有償で注文できます。保証書のシリアルナンバーまたは受信機のシリアルナンバーを確認して、販売店または取扱店にご相談ください。

長期間、使用しないのだが。

送信機は中の電池を抜いて、共にお子様の手の届かないところに保管してください。また 30 日以上エンジンをかけない場合は、受信機はスリープモードに入り、送信機では動かなくなります。その場合は、車両のキースイッチを 3 秒以上「ON」することによってスリープ状態から復帰できます。

2 エンジンスターターの取付け方

取付け上のご注意



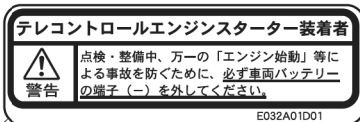
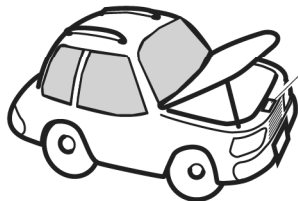
警告

テレコントロールエンジンスターターを安全に、最良の状態でご使用いただくために、取付け前に必ずお読みください。

- この製品は後付けの性格上、車両内の重要な配線部分に接続するようになっています。誤配線、配線省略、設定間違い、受信機の固定不徹底、配線の後処理の不徹底等は重大な事故を起こす原因となりますので、取付け説明に従って注意を良く守り、一つ一つ接続先を確認しながら作業を進めてください。
- 作業終了後は実際に操作して動作確認をしてください。
車両が安全な場所にあること、周囲に人がいないことを確かめ（特に車両の前後、ボンネット内で作業をしていると危険です）、実際に送信機を操作して動作チェックをしてください。また、正常に動作しないままでのご使用や、お客様への引き渡しはしないでください。
- 取付け終了後は「本説明書」および販売店名、販売日を記入した「保証書」（本書の最終ページに記載）をお客様にお渡しください。
- 付属の「警告ラベル」を、エンジンルーム内の良く見え、高温にならない場所に、油やほこりを良く拭き取ってから貼ってください。本製品を取付ける際に「警告ラベル」が無い場合は、販売店または取扱店より入手して貼るようになしてください。



警告



- 「警告ラベル」がない状態で点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。

取付けにあたって知っておきたい注意事項



警告

- 取付けは、概念的な説明で確実に取付けのできる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取付けた場合は、PL保険の対象になりません。
- 本製品に関する一般的な注意事項は、「使用上のご注意」（4～11ページ）に記載されています。取付け前に必ずお読みください。

1. 梱包内容

品名	数量	品名	数量
送信機	1	バンド（受信機固定用）	1
受信機	1	エレクトロタップ	1
受信アンテナ（両面テープ入り）	1	警告ラベル	1
ベースプレート	1	取扱・取付説明書（本書）	1
CN2ハーネス（2極）	1	保証書（本書最終ページに記載）	
インシュロックタイ	3		

梱包内容の他に必要なもの

1. 専用ハーネス（必ず用意する）

- 専用ハーネスの品番は、車種別ハーネス適応表（販売店に揃えている）で確認することができます。

2. オプション（必要に応じて用意する）

オプションリレー

- 電動チルトステアリング付きの一部の車種に取付ける場合に必要です。
- ホンダ レジェンドに取付ける場合には必要です。

3. 車種別取付資料（必要に応じて用意する）

- 販売店より取り寄せます。

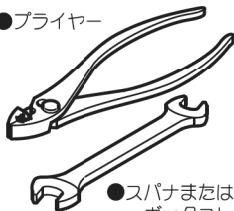
2. 取付け前の準備

揃えておきたい主な工具

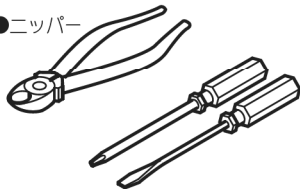
●サーキットテスター



●プライヤー



●ニッパー



●絶縁テープ

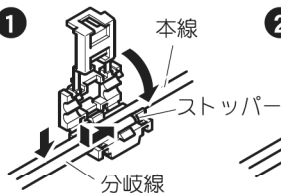


●スパナまたは
ボックスレンチ(10mm)

●ドライバー中 (+、-)

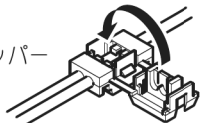
エレクトロタップの使用法

1



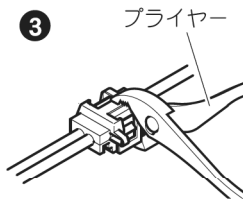
分岐線の先端をストッパーに押しあてながら、車両ハーネスの本線を溝に合わせ、カバーを倒す。

2



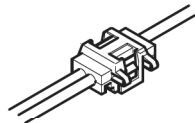
金属部のついたカバーを倒す。

3



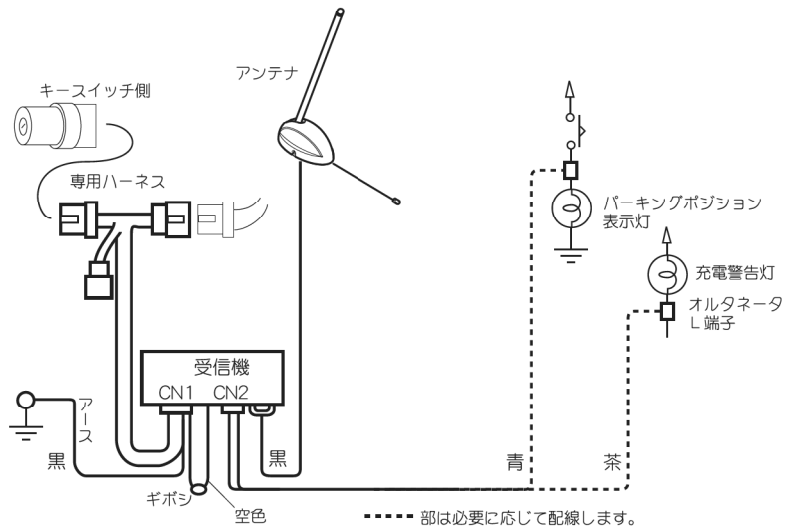
プライヤーで完全に押し込む。

4



外れ防止のため、エレクトロタップをテーピング巻きする。

接続の概念図（システム図）



3. 取付け作業

- 車両のバッテリー端子の(-)を外してから、作業を行ってください。
- 配線、取付けの注意事項等は「車種別取付説明書」を参考にしてください。ここでは、ごく一般的な説明と補足説明にとどめます。

取付けの前に

あらかじめ受信機を取付け場所を決めてください。



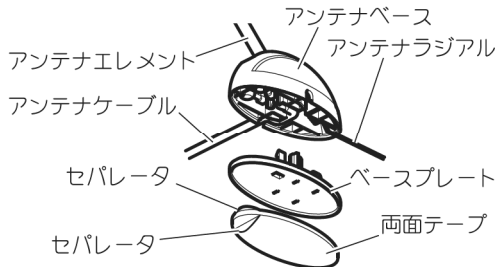
警告

- 取付け場所は、水の浸入しない、結露しにくい場所にしてください。
- 専用ハーネス、CN2、受信アンテナのケーブルは受信機を取付け場所を中心に取り回して接続してください。

1. アンテナの取付け

- アンテナは、ダッシュボードサイド（左右）の、両面テープで確実に固定できる平らな面に、アースラジアルが車両前方になるように、取付けてください。

取付け例 ダッシュボードサイド



- 1 アンテナケーブルを、アンテナベース左右にある凹部に通す。※1
- 2 ベースプレートをアンテナベースに取り付けする。このときベースプレートがアンテナベースに密着するよう全体を均一に押し付けて取り付けすること。また、ベースプレートには向きがあるので、左上図を参照して正しい向きで取り付けすること。
- 3 ベースプレートを、裏側貼り付け面の汚れやほこりを良く拭き取ってから、両面テープを貼り付ける。
- 4 アンテナを取付ける場所を決め、取付ける部分の汚れや油をきれいに拭き取る。
- 5 アンテナは両面テープのセパレータを剥がし、ダッシュボードに貼り付けて取付ける。
- 6 アンテナエレメントの角度を調整する。
- 7 アンテナケーブルを、ダッシュボード裏から受信機取付け場所に導く。
※1 アンテナケーブルは、引き出す方向を変えることができます。



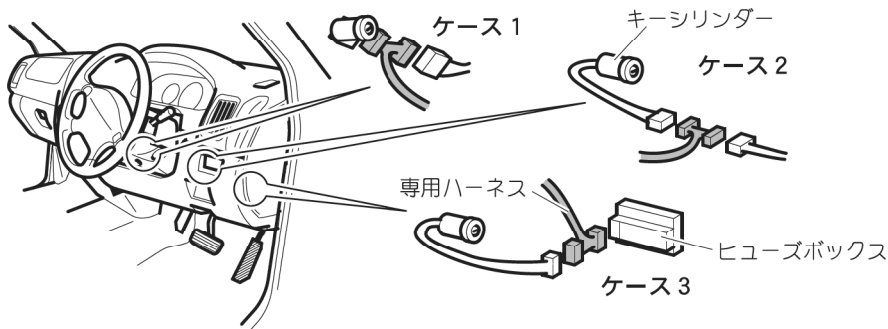
警告

- アンテナを取付けるときに、取付ける場所の油やほこりを良く拭き取って、容易に剥がれないように貼ってください。剥がれ落ちると運転に支障をきたすおそれがあります。
- アンテナは視界の妨げにならない位置に固定してください。

2. 専用ハーネスの取付け

1. 割り込みカブラの接続

(割り込みカブラの取付け場所は、車種により下記の3種類に大別されます。)



ケース 1 コラムカバーを外して、キーシリンダーから直接出ているコネクタに接続。

ケース 2 アンダーカバー内の中継コネクタに接続。

ケース 3 ヒューズボックス内にあるコネクタに接続。

2. アースの接続

車体に直接締めつけてある（塗装されていない車体アース）ボルト、ネジに共締めする。

3. CN2 配線の接続

1. L 端子（茶色）の配線

必要に応じて配線する。

- ディーゼル車は必ず配線してください。
- ガソリン車でも始動不具合車（下記の状態になる場合）は配線してください。
 1. セルモーターを駆動しエンジンを始動したが、しばらくすると停止してしまう。
 2. 不具合現象 1 を 3 回繰り返した後リセットする。
 3. セルモーターを駆動し、エンジンが始動しないのに再始動を行わない。
- 車両側接続先の電圧は、キースイッチを ON にすると 1~3V、エンジンをかけると 12~15V になります。サーキットテスターで電圧を確認してから配線をしてください。

2. パーキングポジション（青色）の配線

通常は配線しない。

- オートマチック車の認識設定ができない車種は、配線をしてください。
- 車両側接続先の電圧は、キースイッチを ON にして、シフトレバーが P レンジのときに 12V、R レンジに動かしたときに 0V になります。（車種により、P レンジのときに 0V、R レンジに動かしたときに 12V になるものもあります。）サーキットテスターで電圧を確認してから配線をしてください。

4. カプラの接続

1. CN1、CN2 の接続

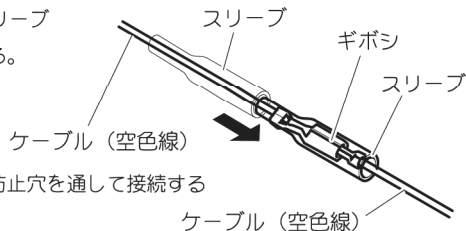
CN1、CN2 を受信機のカプラに確実に接続する

●CN2 は、L 端子、パーキングポジションを配線してない場合は、接続しないでください。

2. ギボシ（空色）の接続

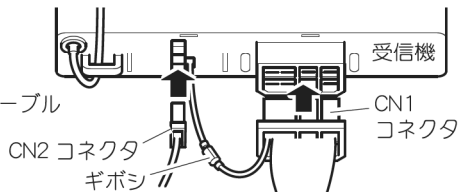
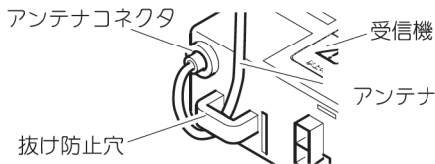
1 専用ハーネスと受信機からの空色線のギボシを確実に接続する。

2 接続後ケーブルに付属しているスリーブをギボシにかぶせて絶縁処理をする。



3. アンテナコネクタの接続

図のように、アンテナケーブル抜け防止穴を通して接続する



5. オートマチック車の認識設定

●カブラの接続が終わり、動作チェックを行う前にこの設定を行います。

操 作	受信機のアンサーバック音	備 考
キースイッチ→「ON」		(受付時間 10 秒以内)
「Stop」ボタンを押す	ピーピーピー…	(受付時間 10 秒以内)
シフトレバー「P」→「R」	プブブ…と音が変わる	(動かしてから 3 秒後)
シフトレバー「R」→「P」	(※ 1 ブーブブ) ピピー	設定完了

※ 1 パーキングポジションの配線をした場合のみ「ブーブブ」と鳴ります。

●車両のバッテリーを外したとき、受信機の CN1 コネクタを外したときは再設定が必要です。

6. 動作チェック

●「オートマチック車の認識設定」(上記) をしてから動作チェックをしてください。

●操作に関する注意事項は「エンジンスターターの使い方」(14～15 ページ) を参照してください。

1. エンジンの始動

操 作	エンジン
「Start」ボタンを押す	始動する

●エンジンが始動後、1～2分間アイドルリングが継続することを確認してください。

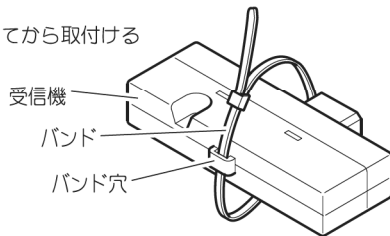
2. エンジンの停止

操 作	エンジン
「Stop」ボタンを押す	停止する

- 送信信号を送ると、受信機がブザーによりアンサーバックをします。その音によって正常、異常が判断できますので、アンサーバック表（40～41 ページ）と見比べて、異常箇所を一つ一つ直しながらチェックしてください。
- 異常箇所が重複している場合、最初の異常箇所をアンサーバックします。それが解決すると次の異常箇所のアンサーバックをします。

7. 受信機の取付け

- 1 動作チェックをして、確実に動作することを確認してから取付ける
- 2 受信機の取付けは、付属のバンドで、ゆるみ、がたつきの無いように、アンダーカバー、車両側のハーネス束等しっかりと固定する



8. 取付け後の配線処理

- 配線コードは車両の可動部（チルトステアリング、アクセル、ブレーキ、パーキングブレーキ、アクセルリンク等）またはシャープエッジに触れたり、挟み込まれたり、垂れ下がらないようにインシュロックタイ等で結束してください。また、絶縁処理の必要な配線は絶縁テープ等で処理をしてください。



警告

- 受信機の取付けが不完全な場合、落下等で運転に支障をきたし、重大な事故につながるおそれがあります。
- 受信機は足下の水の跳ね返りや、外部からの水の浸入にふれないように設置してください。内部に水が浸入すると、動作不良等によって重大な事故につながるおそれがあります。（受信機は防水対応ではありません）
- 配線コードが挟み込まれたりすると場合によっては断線、ショートが起こり、受信機または車両のシステムを破損したり、アクセル、ブレーキが正常に操作できなくなったり、車両火災を起こす危険があります。

9. 機能の設定

- 以下の設定はお客様に引き渡す前に、あらかじめお客様に確認の上で行ってください。
- 機能についての詳細は「エンジンスターターの使い方」の「機能の設定」(16～18 ページ)を参照してください。

1. アイドリング(暖機)時間の設定 10分/20分/30分(出荷時は20分)

- 設定手順は、「エンジンスターターの使い方」の「アイドリング(暖機)時間の設定」(17～18 ページ)を参照してください。

2. クランキング固定時間の設定(出荷時は1秒固定)

- エンジンのかかり具合にあわせて、クランキング固定時間を変えることができます。

操 作	受信機のアンサーバック音	備 考
キースイッチ→「ON」		(受付時間10秒以内)
「Stop」ボタンを押す	ピーピーピー…	(受付時間10秒以内)
「Start」「Stop」 ボタンの同時押し	ピロピロピロ…	(受付時間10秒以内)
キースイッチでセルモータ を回してエンジンを始動	音が止まる	セルモータの駆動時間 記憶中(最大2秒まで)
キースイッチを放して セルモータを停止	ピーピー	



警告

- 車種によっては設定のできない場合があります。
- 設定後は、ここで設定したクランキング固定時間でセルモータが駆動します。エンジン始動時間が環境等で大きく変化する場合、クランキング固定時間を長く設定するとセルモータのオーバーランが考えられますので注意してください。
- エンジンスターターを別の車両に載せ換えるときには、再設定が必要です。

3. 車種の設定（出荷時はガソリン車）

- ディーゼル車で特に寒冷地での使用時に、グロータイムが長く必要な車種は、「ディーゼル車」に設定してください。「ディーゼル車」に設定すると、グロータイムは7秒間になります。（「ガソリン車」は5秒間）

■「ガソリン車」設定手順

操 作	受信機のアンサーバック音	備 考
キースイッチ→「ON」		受付時間 10 秒以内
「Stop」を押す	ピーピーピー …	受付時間 10 秒以内
「Start」「Stop」 ボタンの同時押し	ピロピロピロ …	受付時間 10 秒以内
「Start」を押す	ピピー	

■「ディーゼル車」設定手順

操 作	受信機のアンサーバック音	備 考
キースイッチ→「ON」		受付時間 10 秒以内
「Stop」を押す	ピーピーピー …	受付時間 10 秒以内
「Start」「Stop」 ボタンの同時押し	ピロピロピロ …	受付時間 10 秒以内
「Stop」を押す	ブブー	

※エンジンスターターを別の車両に載せ換えるときは、再設定が必要です。

10. 受信機のモニターアラームアンサーバック表

- 40～41 ページを参照してください

4. スペア送信機について

送信機を紛失または破損（修理不可能）した場合に、スペア送信機（有償）を作ることができません。保証書または受信機のシリアルナンバーを確認の上、販売店または取扱店を通して注文してください。

■スペア送信機 I D 書込み、および作動確認手順

操 作	受信機のアンサーバック音	備 考
キースイッチ→「ON」		受付時間 10 秒以内
「Start」「Stop」 ボタンの同時押し	ピロ	受付時間 10 秒以内
「Stop」を押す	ピピー	（書込み完了）
キースイッチ→「OFF」→抜く		
「Start」を押す	（エンジン始動）	（エンジン始動の条件が そろっていること）

- I D 書込手順で受信機が「ブツ」と鳴る場合は登録ができていません。最初からやり直してください。
- スペア送信機の I D 書込みが完了すると、今までの送信機は使えなくなります。また送受信機 1 対 1 の原則により同じ送信機を 2 つ以上作ることはできません。
- 受信機を取り外した場合、36 ページの「受信機の取付け」と「取付け後の配線処理」に従って取付けを行ってください。

(資料) 受信機のモニターアラームアンサーバック表

番号	アンサーバック音	アンサーバック音が鳴る場合
1	ピロピロ	受信機に電源が入ったとき
2	ピーピーピー …	設定モード中 1
3	ブブブ …	設定モード中 2
4	プッププツ …	設定モード中 3
5	ピロピロピロ …	設定モード中 4
6	ピーー	オートマッチク車の認識設定完了時 ガソリン車設定完了時 クランキング固定時間設定完了時 スペア送信機 I D 書込み完了時
7	ブブー	ディーゼル車設定完了時
8	ピー	アイドリング時間 10 分設定完了時
9	ピー ピー	アイドリング時間 20 分設定完了時
10	ピー ピー ピー	アイドリング時間 30 分設定完了時
11	ピツ	スタート・ストップ受付け時

12	ブーブブ (ピーポジ)	オートマチック車の認識設定が行われていない時 シフトレバーがPポジション以外に入っている時	○
13	ブブブー (アイジー)	エンジン始動時にI G電圧が低い時 オート検出にて始動後のバッテリー電圧降下時	○
14	ブブブーブ (エルタンシ)	エンジン始動時にL端子電圧が既に上がっている時 L端子検出にて始動後のL端子電圧降下時	○
15	ピピピー	オート検出での始動成功時	
16	ピピピーピ	L端子検出での始動成功時	
17	ピロピロ	アイドルリングタイマー終了時	
18	ピッピッ …	エンジンスターターでアイドルリング中（2秒間隔）	
19	ピピピピッ	エンジンスターターでアイドルリング終了5秒前から	

○印は、エンジンが始動しないとき、またはエンジンが停止したとき（アイドルリングモード終了時）に発音します。

5. 主な仕様

使用周波数	426.0250MHz (特定小電力無線機器)
送信時間	1.5 秒
送信確認	モニターランプ
バッテリー低確認	モニターランプ (送信後に 5 回点滅)
生活防水	JIS 耐水型相当
アンテナ	3 段内蔵ロッドアンテナ
電池	コイン型リチウム電池 (CR2032) × 1
スイッチ	スタート/ストップ
動作温度範囲	- 20°C ~ + 70°C
寸法・重量	63mm × 30.5mm × 11.6mm、24g (電池含む)

電源電圧	動作電圧 DC7~16V
待受け消費電流	10mA (平均)
安全検出	パーキングポジション
CN1 コネクタ	ES-89 シリーズ専用ハーネス
CN2 コネクタ	2 極ハーネス
機能設定	送信機にて設定
動作確認	受信機内蔵ブザーにより動作状態を発音
スリープタイマー	30 日
寸法・重量	130mm × 45mm × 25mm (突起部含まず)、108g

アンテナ形式	ダッシュボードオンタイプ
寸法	50mm × 25mm × 22mm (エレメント長 145mm)
ケーブル長さ	2,000mm

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

6. アフターサービス

保証期間中は、保証規定に基づいて修理いたします。保証書は、故障の修理時または、スペア送信機の作成時等に必要となります。必要事項が記入されていることをご確認の上、大切に保管してください。また、保証期間後の修理についても、販売店または取付店にご相談ください。

アフターサービスのお問い合わせ

総発売元 株式会社シーディートレーディング

〒 399-8303 長野県安曇野市穂高 7557-1

TEL 0263-81-1189 FAX 0263-84-0089

取扱い販売店

製造元 株式会社 サーキットデザイン

ES-89Cute

品質保証書

本製品は高度な品質管理体制のもとに製造し、厳重な検査をパスして出荷いたしました。
正常な取り扱い方法で故障した場合は、下記の規定に従い無償で修理いたします。

保証規定

- 保証の期間内において、本製品を取り扱い説明に従った正常な使用方で故障した場合は、お買い上げの販売店を窓口として無償にて修理いたします。
- 保証の期間はお買い上げの日より36ヶ月（3年間）とします。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理となります。
 - お客様による取り扱い時の落下、衝撃、またはお客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷。
 - 当社の技術者以外の方が修理・分解・調整・改造などをされたもの。
 - 電池の液漏れによる損傷、故障。
 - 火災、地震、台風などの天変地異や、その他不可抗力による損傷、故障。
 - 保証書のない場合、またはご提示のない場合。
 - 保証書に規定の記載（買上年月日、販売店名）および店印のない場合。
- 消耗部品（電池、アンテナ等）は保証対象外です。
- 修理によって生じた交換部品は原則としてお返しいたしません。
- 本保証書は再発行いたしません。紛失しないよう、大切に保管してください。
- 保証期間内に修理を依頼する際は、製品に本保証書を添付の上、お買い上げの販売店にご用命ください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in JAPAN.

※本保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無料修理をお約束するものであり、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理についてはお買い上げ販売店までお問い合わせください。

販売日

年 月 日

シリアル NO.

販売店

お客様	
お名前	
電話番号	
ご住所	〒

株式会社サーキットデザイン

長野県安曇野市穂高 7557-1 〒 399-8303

TEL.0263-82-1010 FAX.0263-82-1020

